中日新聞　2017年（平成29年）1月28日（土曜日）

米国の〝壁〟越えてゆけ

自慢の日本酒　母国3都市で売り込み

渡辺酒造の蔵人コディーさん

ピザ店の客にも日本酒を試飲してもらった＝米国のシカゴで（いずれも渡辺酒造店提供）

渡辺酒造店（飛騨市古川町）の米国人蔵人ブレイルズフォード・ダリル・コディーさん㈣＝高山市江名子町＝が八～十四日、米国三都市で自ら造った日本酒をPRした。母国での評価に手応えを感じたといい、「トランプ大統領に飲んでもらいたい」と、さらなる普及を目指す。（浜崎陽介）

コディーさんは、高山市出身の日本人妻と結婚後、二〇〇六年に来日。日本酒のおいしさにほれ込み、同十月に入社した。昨年、酒造り十年目の節目に自ら仕込み、ラベルも考案した「Cody's Sake（コディーの純米酒）」を造った。ラベルに忍者の絵をデザインした純米酒や、米国旗が目を引く純米吟醸酒など四種類ある。

同社専務の渡辺隆さん㈣によると、シアトル、ポートランド、シカゴを訪れた。居酒屋やすし店、ピザ店やバーのほか、卸会社など計二十一軒を法被姿で回った。オーナーやシェフ、客に試飲してもらい、十五軒が採用に前向きだったという。

商談では「フルーティーで飲みやすい」「チーズやシーフードにも合う」といった評価を受けた一方、「ラベルが日本らしくない」との厳しい意見も寄せられた。日本で酒造りをするコディーさんの生き方を称賛する声もあったという。

コディーさんは「おいしいと言う人がほとんどだったが、日本酒への理解はまだ不足していると感じた。シーフードやイタリアンの店にも通用すると分かったので、さらに広めたい」と語る。

二〇一七年度の米国への出荷目標は五千本。今後は年二回ほど渡米する予定だ。

居酒屋のオーナーに日本酒をPRするコディーさん㊧＝米国のシアトルで